

令和2年7月12日

公益財団法人  
船井情報科学振興財団御中

シカゴ大学経済学研究科  
潮田佑

## 2012年度派遣奨学生最終報告書

大変に時間を要しましたが、ようやく博士課程を修了することができました。今後は税務のコンサルティング業務に従事いたします。こちらでは就職活動の経験をおもにご報告させていただきます。

### 1. 博士論文

私は民間企業に就職することになりましたが、就職活動に使用した論文はジャーナルへの出版を目指しています。論文に使用している計量的な手法はシンプルなものですが、日本の制度変更を利用してきれいに因果関係を抽出することができました。ビジネススクールに就職した友人が、共著者として改訂・投稿作業を行ってくれることになっています。

### 2. 経済学大学院生の民間就職活動

おもに民間企業を中心に就職活動をした経験が読者の何がしかの参考になればと思い、こちらにいくつか気づいた点を記載させていただきます。

#### 実証研究の経験

近年はアカデミアでも理論研究家の学生はかなり苦戦することが多いようですが、民間でも同様であるように思いました。リティゲーション・コンサルティングやテック・カンパニーへの就職は応用ミクロ経済学の実証研究の経験が有利にはたらくように感じますし、

投資銀行のリサーチ部門や公的機関・シンクタンクなどはおもにマクロ経済学や労働経済学の実証研究者を採用しているようです。

## 面接をしてもらうために

就職活動をする中で感じたのは、面接に進む方法は基本的に3つしかないということです。ひとつはアメリカ経済学会などが開催する就職イベントを通じて履歴書を出す方法、もうひとつは社内の人にリファーしてもらう方法、そして最後にリクレーターに企業を紹介してもらう方法です。逆に、職務経験のない大学院生が馬鹿正直にウェブサイトやLinkedInから履歴書を提出しても、条件の良いポジションの面接までこぎつけるのはなかなか難しいと思います。企業の人事部にリファーしてもらえるよう、就職したい企業の社員とコネを作ることが大事であるといえそうです。

## 面接内容

私はテック企業のデータ・サイエンティストやニッチな分野のコンサルタントといった職種におもに応募しましたが、大学院における研究内容を話す機会がそれほどなかったことに少々驚きました。選考過程で面接以上に進んだ企業は十数社ありましたが、その中で研究内容を詳細に話す機会があったのは2社だけでした。

それではどのように選考するのかというと、実際の業務に即したケース・スタディが非常に多かったように思います。労務系のコンサルティングでは、差別的な人事が行われているかどうか、どのようにデータから示すかを問われましたし、ライドシェアやオンライン・コマースのような企業では、どうすればサービスのサプライヤーと消費者のマッチングが改善するのか、そして需給を調整するためにどのような価格づけを行うかが問われました。

## 求められているスキル

また、民間企業でミクロ・エコノミストに期待されているのは、統計的に洗練された手法をどれほど知識として持っているかよりも、いかに分野外の人に因果関係をシンプルに伝えられるかであると感じました。コンサルティングではクライアントに結果を説明することが求められるでしょうし、テック企業では統計学にそれほど明るくないプロダクト・マネージャーにも方針とその理由を示さなければなりません。エコノミストは論文を書く際にも「ストーリー」を重視しますから、それが重宝されているのかもしれない。

経済学大学院の学生は、在学中にデータベース言語を使用することはあまりないと思いま

すが、多くのテック企業では、データ・サイエンティストの志望者に対して、SQLの知識を前提としていることが多いようです。就職活動が忙しくなる前にオンラインのコースを受講しておくと思えます。また、分析にPythonを使用する人が多いようですので、もしデータ・サイエンティストになりたいのであれば、自分の研究にもPythonを使用して慣れておくといよいでしょう。

## 熱意の伝え方

熱意を伝えることも重要であるようです。企業はミスマッチで採用コストが無駄になることは避けたいでしょうし、やりたいことをやれている従業員のほうがパフォーマンスも高いでしょうから、どの程度入社を志望しているのか気にするようです。熱意をアピールするのに一番簡単で有効な方法は、志望動機と質問をあらかじめよく練っておくことでしょう。中には、ほぼ業務内容や産業構造に関する質問で面接が終わってしまうようなこともありますが、その場合は次の選考に進める確率が高かったように思います。ちなみに、私がライドシェア・サービス各社のエコノミストにした質問で悪くなかったと思うのは、「ライドシェア業界はベルトラン均衡に陥っていないか」というものでした。

## 企業間の調整

就職活動も佳境に差しかかると、複数社の選考を同時に進めるために日程を調整する必要に迫られることがあると思えます。多くの企業は、面接に招いた学生には、他社の面接の日程やオファーの締め切り期限を尋ねます。基本的に正直に答えるべきだと思いますが、企業によっては、他社の内定応諾の切の夜に選考結果を伝えてくることがあります。もしそのようなギリギリの状態を避けたいのであれば、一日余裕をもって戦略的に日程を伝えるべきでしょう。

---

以上ご報告とさせていただきます。末筆ではございますが、博士課程修了にあたり、多大なるご支援をいただきましたことを改めて感謝いたします。長いことかかりましたが、納得できる研究結果を出すことができ幸いでした。コロナウイルスの感染がなかなか縮小しませんが、財団関係者の皆様もお体に気をつけてお過ごしください。

